






## 令和5年度「社会貢献促進セミナー」の紹介 Social Contribution Facilitation Seminar


群馬大学大学院医学系研究科医科学専攻では、大学院生の必修科目として「社会貢献促進セミナー」を行っています。平成16年から始まった取り組みで、社会課題や地域のニーズをふまえて大学院生自身が立案したプログラム、あるいは群馬県や前橋市保健所からご提案頂いたプログラムを実践し、社会貢献への理解促進およびコミュニティの一員として社会貢献を積極的に実践できる医学研究者の育成を行っています。今年度は19のプログラムを35名の大学院生が実践しましたので、その内容をご紹介します。

No	プログラム名	人数	プログラム内容
1	医療通訳ボランティア養成講座	3	2023年9月群馬県庁にて、医療通訳ボランティア養成講座が企画された。医療通訳ボランティアとは、日本在住の外国人に対し、医療従事者との会話の通訳を無償で提供している方々のことである。今回の養成講座は、医療従事者と患者の役を演じる2者を設定し、この2者とのロールプレイを通じて(自身は医療従事者を担い)、ボランティアの方々の医学的知見を深めていただいた。
2	高校生のための医学セミナー	6	医師不足や医師の過重労働は社会的な問題になっているが、医師の人数を増やすことや働き続けやすい環境を整備することが重要と考えられる。その一環として、将来、医師になることを目指している高校生を対象に自身の経験を振り返りながら、医師を目指した動機、医学部生や医師になってからの生活、働き方の多様性について講演、質疑応答を行った。 
3	群馬大学重粒子線がん治療施設見学会	3	2023年10月27日(土)群馬大学重粒子線がん治療施設見学会を開催した。当日は13:00-16:00までの間、総勢500名を超える一般来場者が見学に来られた。重粒子線治療室、治療計画CT室、加速器装置の順番に見学し、スタンプラリーや重粒子線治療に関するパネル説明を行った。 
4	産業保健総合支援センターにおける、産業保健セミナーの開催	1	2023年10月12日に、各企業の労務管理担当者や産業医に向けて、「働く女性の健康課題について」と題して講演を行った。講演の中で、月経関連疾患や不妊治療、更年期障害などの女性特有の健康課題について幅広く説明した。企業の担当者に女性特有の健康課題を周知することは、今後女性の社会進出が進んでいく中で、不妊治療や月経関連疾患の治療、更年期障害の治療などと仕事の両立を支援していくために重要であると考えられた。

5	小中学生のための 医学研究者・医 師・看護師体験教 室	3	地域の小中学生に対して、講義形式の説明を行うことで脳研究の基本的な知識に触れてもらい、興味を抱いてもらうことを目的とした。また、実際に脳組織(実験マウス)の観察やパッチクランプ実験など簡単な実技を通して、研究活動の一端を体験し、将来の研究者像を具体的に想像できるよう支援した。	
6	プリミークラブ	1	この活動は、早産・低出生体重児などで出生された保護者を対象に、育児や生活面で継続的な支援を行う活動である。9月5日、「こどもの風邪とホームケア」というテーマで講演を行った。風邪についての医学的な知識、小児科に受診する目安、自宅でできるホームケアについてお話しした。講演後、多くの質問を頂いた。	
7	医学部生対象「やさしい日本語」講座	5	「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、普通の日本語より簡単で外国人にもわかりやすいように配慮された日本語のことである。群馬県の「やさしい日本語」普及事業として、今年度は医学生を対象に講座を行った。大学院外国人留学生はロールプレイで外国人模擬患者となり、学生の言いたいことが伝わったか、外国人にわかりやすい言葉の選択や言い回し、自国の文化などを学生にフィードバックし、医学生の実践的な学びに貢献した。	
8	日本肝臓学会 肝がん撲滅運動	1	メタボリックシンドロームは、2型糖尿病、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病のリスクとなり、脳梗塞、心筋梗塞になりやすくなることが広く知られているが、肝臓がんとの関連があることはあまり知られていない。今回は肝臓がんの一次予防を目的として、メタボリックシンドロームと肝臓がんの関連に関する市民公開講座の運営のお手伝いとして参加させて頂いた。	
9	子宮頸がん啓発講演会	1	前橋市内の企業で、子宮頸がん検診をメインに乳がん検診や他の婦人科疾患などについて講演を行った。検診を契機にがんの早期発見・早期治療に結びつけることの重要性を強調するとともに子宮頸がん検診の受診率の低さといった問題提起を行い、検診の普及活動に寄与できたと実感している。	
10	小学生への職業紹介「働いている	1	県内の小学校 6年生を対象に、総合的な学習の時間を利用して「働いている方とふれあおう」というテーマのもと 1時間程度の講演を行っ	

	方とふれあおう」		た。医師の職業内容や職場の紹介、なぜ医師を目指そうとしたのか、小学生に向けたメッセージなどについてスライドを用いて zoom で実施した。仕事や将来の進路について考え始めている小学生達に、実際の医師としての経験や思いを伝えることで働くことのやりがいや伝えられ、社会貢献に寄与することができた。
11	さわやか群馬リーダー養成セミナー	1	さわやか群馬リーダー養成セミナーで「変形性膝関節症について～運動療法と生活指導を中心に～」というテーマで講演を行った。変形性膝関節症は膝関節の疼痛や関節可動域制限のために歩行障害、日常生活動作障害を生じて、生活の質を低下させる。今回、病院に受診することなく変形性膝関節症の予防と治療が行えるように、運動療法と生活指導を中心に講演を行った。 
12	ダイエット教室	1	令和 5 年 6 月 30 日と 8 月 24 日に、榛東村保健相談センターにて BMI25 以上の榛東村住民を対象に、「ダイエット教室」の講義を行った。「脂肪燃焼のための運動」では体脂肪減少に効果的な有酸素運動の運動強度について、2 日目の「ゴムバンドを使った運動」ではレジスタンス運動を指導した。夏場の実施ということで、自宅での実施率は屋外ウォーキングが低く、自宅でのレジスタンス運動の実施率が高かった。 
13	① 家庭教育支援 幼児安全セミナー ② 障害児早期療育事業(マザー&チャイルド)	1	① 子育て中の保護者や幼児教育・保育の関係者等を対象に、家庭教育支援幼児安全セミナーを行った。幼児の緊急時における対処法等についての基本的な知識、対応の仕方、時間外受診する際の方法等について説明した。 ② 発達に遅れや気になるところのある未就学児とその保護者に対し、遊びを活用した集団療育の会の運営の手伝いとして参加させていただいた。参加することで、健診や一般外来の際に発達障害を持つ児や困っていることに気づけない保護者の早期発見が可能になり、適切なタイミングで療育につなげられる一歩になると感じた。 
14	一般市民向け研究紹介動画の作	1	生体調節研究所の所属研究室の研究内容を一般市民向けに紹介する動画を作成し、まえばし暮らしテック推進事業に無料コンテンツと

	成(前橋市「暮らし テック推進事業」 への参画)		して提供した。具体的には自身の研究内容についてデータとスライドを提供するとともに、動画の構成についての議論、動画作成作業に参加した。本活動は糖尿病に関心のある方々への情報提供はもちろん、高校生など若年世代へメディカルサイエンスに興味を持っていただくきっかけにもなると考えられた。
15	第33回ぐんまマラソン メディカルランナー	1	第33回ぐんまマラソンのフルマラソンの部において、医師資格保有のメディカルランナーとして大会に参加した。レース中、健康上の異常が生じたランナーを早期に発見し、初期対応にあたることを目的とした。実際に男性1名の救護を行なった。大会の安全な運営に貢献することができた。  
16	強皮症患者の明日のために～強皮症患者のためのハンドブック～	1	全身性強皮症は、皮膚や内臓臓器の線維化、血管障害、免疫異常を特徴とする全身性疾患である。2016年6月に群馬大学医学部附属病院皮膚科が全身性強皮症患者会「明日の会」を立ち上げた。2019年2月には強皮症患者のためのハンドブックを作成した。このハンドブックは、疾患概要や患者の治療経験を知ることで、新たに治療を開始する患者の不安を軽減し、前向きに治療に取り組む手助けとなっている。今年度は、疾患知識や患者からの治療経験を追記し改定を行った。
17	高校野球選手権 群馬大会メディカルサポート	2	高校野球選手権大会のメディカルスタッフとして、参加選手の怪我や観客の体調不良等に対応した。スポーツドクターとしての選手への貢献のほか、高校野球を安全に運営する上で貢献することができた。
18	医療安全週間 ～対話で深める 患者参加の医療 安全～	1	群馬大学医学部附属病院医療安全週間の企画運営に携わり、医療者・一般市民向けのアンケート調査などを行った。本年度の医療安全週間のテーマは「対話で深める 患者参加の医療安全」のため、患者参加型医療に関する意識調査アンケートを実施した。多くの方が患者参加型医療について関心がある一方で、自身の診療記録などは見たことがない人が多いということが判明した。患者参加型医療を推進させるには、必要に応じて患者ご自身の診療記録などを見ていただく機会が必要だと感じた。 

19	23 summer オープンラボ student programme A コース	1	<p>2023年8月4日に群馬大学・生体調節研究所・細胞構造分野にて地元の高校生に向けたオープンラボが開催された。当分野の研究内容に関する講義と実験指導を行い、高校生の皆様方に楽しんでもらいつつ、当分野の実験の意義を理解してもらうことができた。また、このようなオープンラボを開催することで、高校生の皆様方の科学的好奇心を高め、将来の優秀な科学者の育成の一助となることを期待している。</p>	
----	--	---	---	---